

仕様書番号:仕-KM02-※※JP-1

御中

仕 様 書

品名: JAPPY 延長コード

品番: KM02-10JP 黄/青/桜

KM02-20JP 黄

JAPPY

2019年12月5日

因幡電機産業株式会社

1. 適用範囲

本仕様書は塩化ビニル樹脂コンパウンドを主絶縁体としたビニルキャブタイヤ丸型ケーブルに
差込みプラグを同時成型したものについて適用する。

2. 準拠規格

JIS C 3312 (600V ビニル絶縁キャブタイヤケーブル)

電気用品安全法 (電安法各政令及び省令)

JIS C 8303 (配線用差込接続器)

JIS C 8358 (電気器具用差込接続器)

3. 定格及び環境条件

定格 1500W/125V/15A

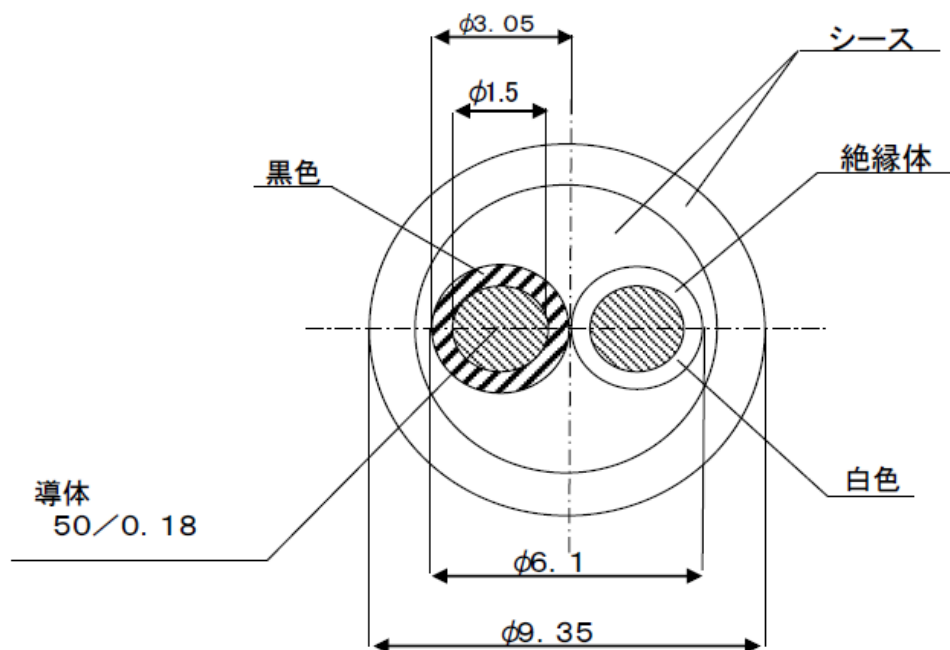
環境条件

使用温度範囲 -10°C~40°C

4. 構造

4-1. キャブタイヤケーブルの構造

項目	単位	仕様
線心数	本	2
公称断面積	mm ²	1.25
導体	材質	— J I S C 3102 に規定された軟銅集合より線
	構成	本/mm 50/0.18
	外径	mm 1.5
絶縁体	材質	— 非鉛 塩化ビニル樹脂
	標準厚	mm 0.8
	平均厚	mm 0.72 以上
	最小厚	mm 0.64 以上
	外径	mm 3.05
シース	材質	— 非鉛 塩化ビニル樹脂
	標準厚	mm 1.7
	平均厚	mm 1.53 以上
	最小厚	mm 1.45 以上
	外径	mm 9.35
表示	コード表面に以下の文字を連続印刷する。 インク色 黄・桜:灰色 青:白色 <PSE>E JCT KOWA. KK VCT 1.25 mm ² JAPPY	

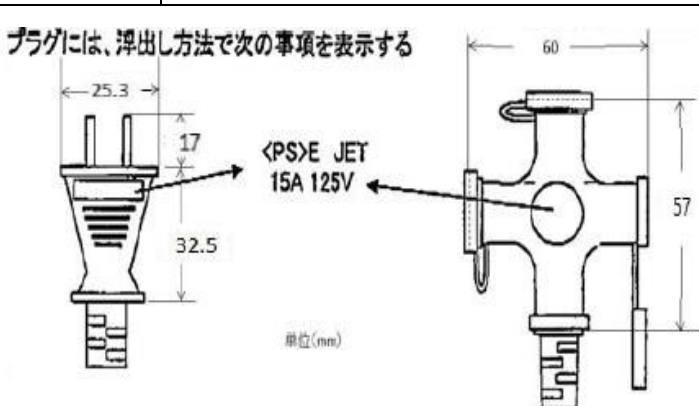


4-2. キャブタイヤケーブルの特性

特性項目		特性	試験方法
外観		表面は平滑でひび、割れ、傷、気泡、色むら、変色、変質、汚れ、異物混入などの欠点がないこと 表示は正しく明瞭であること	JIS C 3005
導体抵抗 (20°C)		15.1 Ω/km 以下	
導通		50V 以下の電源で導体に電流を流し、ベル、ブザーなどにより断線の有無を調べ、導通があること	
耐電圧	水中	3000V 1分間耐えること (導体大地間及び導体相互間)	
	スパーク	7500V 0.15秒間以上耐えること (導体と試験用電極間)	
常温絶縁抵抗 (20°C)		50MΩ km 以上	
絶縁体及びシースの引張 (常温)	引張強さ	10Mpa (1.02kgf/mm ²) 以上	JIS C 3005
	伸び	絶縁体 : 100% 以上 シース : 120% 以上	引張り速さ : 約 500mm/分

特性項目	特性	試験方法
難燃性	完成品から採取した長さ約 300mm の試料を水平面に対して約 60 度に傾斜させ、還元炎の先端を試料の下端から約 20mm の位置に 30 秒以内で燃焼するまで当て、炎を静かに取り去った後、30 秒間以内で自然に火が消えること	JIS C 3005
耐曲げ性	線間短絡を生せず、かつ絶縁体にひび割れ等の異常がないこと	

4-3. 差込プラグ及びコネクターボディの構造

項目		単位	仕様
栓刃 (オス)	材質	—	黄銅 ニッケルメッキ (JIS H 3100)
	刃厚	mm	1.5
	刃幅	mm	6.3
栓刃固定部材質		—	ユリア樹脂製 白色
刃受け (メス)	材質	—	リンセイ銅 (JIS H 3100)
	刃厚	mm	0.6
	刃幅	mm	6.3
プラグ及び コネクターボディ	材料	—	非鉛 塩化ビニル樹脂
	色	—	黄色
コードとの接続	栓刃	—	圧着接続
	刃受け	—	圧着接続
その他	<p>プラグには、浮出し方法で次の事項を表示する</p>  <p>単位 (mm)</p>		

4-4. 差込プラグ及びコネクタボディの特性

特性項目	特性	試験方法
外観	外観に変形、傷、気泡、色むら、変色、変質、汚れ、異物混入などの欠点がないこと。	JIS C 8306
表示内容の識別性	表示内容は見やすいところに容易に消えない方法で明瞭に次の項目を表示する a: 定格電圧 b: 定格電流 c: 製造者名又はその略号	
コードかしめ部耐引張り性	栓刃 及び 刃受けの破断荷重が 140N (14.5kgf) 以上であること 素線がかしめ部から抜けず、かつ素線が全断線しないこと	
耐電圧	1250V に 1 秒間耐えること (極性を異にする充電部間) (充電金属部と接地及び人の触れる非充電金属部間)	
コード束線状態の通電性	発煙、発火なきこと、再使用可能なこと (定格電流通電 (7A)、温度上昇飽和後 1 時間通電)	
刃受け保持力	10~60N (1.00~6.00kgf) の範囲であること	
安全性	感電、やけど、けが等の危険性及び不安感を与える構造ではないこと	